そうだ 図書館に 行こう♪

今月のおすすめ

新着・新刊案内は、各図書館での掲示、またはホームページをご覧ください。

『螢の城』
秋月達郎／著　（PHP）

浅井長政の3姉妹の次女、初の嫁いだ大津城主・京極高次。軍略も軍才もない弱小の男。しかし、男には戦国一の「人望」があった。大津城が舞台の歴史小説です。

『[賛否両論]笠原将弘のごはんの友110』
笠原将弘／著（主婦と生活社）

切ってまぜるだけの超かんたんなものから日本伝統の定番料理までを幅広〜く網羅した、ごはんを愛するだれもをとりこにする一冊。毎日のごはんが楽しく食欲もアップ！

『お風呂の達人』
石川泰弘／著（草思社）

温泉入浴指導員で睡眠改善インストラクターが「正しいお風呂」の入り方を大公開！心身の疲労回復やメタボ解消など、目的にあった入浴術を学んで、健康な暮らしに役立てましょう。

『びわ湖百八霊場公式ガイドブック』
木村至宏／監　びわ湖百八霊場会／協（淡交社）

宗教上でも、京都、奈良に次いで神社仏閣が全域に創建されている滋賀県。宗派に関係なく選ばれた百八ケ寺。びわ湖百八霊場では御朱印も用意されています。どこからでも廻れますが、詳しくはガイドブックを見てください。

催し物のお知らせ 5月

今津図書館

◆かけはし「朗読会」
【日時】13日（金）14時〜15時

◆エントランス展示
「陶芸展」
【期間】1日（日）〜31日（火）

私のオススメの一冊

図書館利用者のオススメの一冊を、本の感想とあわせてご紹介します。

『利休にたずねよ』
山本兼一／著（PHP研究所）

茶頭として秀吉に仕えた千利休の一生を違う面からみて書かれた歴史小説である。時の権力者秀吉に相対して、美を大切に茶道に専念する利休にも若き日の恋があった。高麗生まれのその女の美しさは、咲き誇る花ではなく開く前の蕾（つぼみ）を感じさせる毅然（きぜん）とした中にあでやかで凜冽（りんれつ）な命を秘めていた。死んだ女の残した緑釉（りょくゆう）の香合（こうごう）を一生懐に持ち続けた利休、秀吉にも譲らなかったという。その傲慢さが許せなかった秀吉は彼の力を信じながら理由をつけて切腹を命じた。命乞いもせずにそれに応じた利休、その時代背景もわかって面白い。第140回の直木賞作品である。

（高島市勝野　八田キヨミさん）

（注釈）
毅然…意志が強くしっかりしていて、物事に動じないさま。
凜冽…寒気のきびしいさま。
緑釉…陶磁器のうわぐすりの一種。
香合…香を入れる小さな容器。

▼貸出延長や予約はこちらまでご連絡ください。

開館日カレンダー

5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
今津図書館 ☎(22)3827					休			話				休						映	休						話	休					
安曇川図書館 ☎(32)4711	話		休							休					話		休							休							休
マキノ図書館 ☎(27)0350		休	休						休	休						休	休				話		休	休						休	休
朽木図書サロン ☎(38)2324		休	休	休	休				休	休						休	休						休	休				話		休	休
新旭図書室 ☎(25)2811			休	休	休		話			休	休	話					休	休			話			休	休						休
高島図書室 ☎(36)2160		休	休						休	休						休	休				話		休	休						休	休

映 は一般映画会。話 はおはなし会です。時間や内容など詳しくは各図書館へお問い合わせください。

4月23日(土)〜5月12日(木)は、「こどもの読書週間」

4月23日(土)から5月12日(木)は、「こどもの読書週間」です。市内図書館、学校等では、子ども読書の取り組みをより一層推進します。
家庭でも、親子で絵本を楽しんだり、図書館へ出かける機会を持ちましょう。

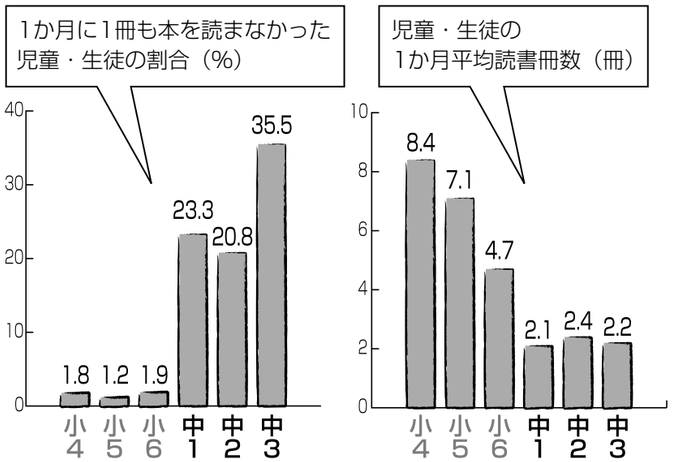
子ども読書活動推進計画

読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです。

しかし、現在では、テレビやインターネットなどの様々な情報メディアの発達・普及や子どもの生活環境の変化、さらには、幼児期からの読書習慣が身についていないことなどにより、子どもの「読書離れ」が指摘されています。

高島市では、「子ども読書活動推進計画」を策定し、すべての子どもがあらゆる機会・場所で、自主的に読書活動を行うことができるよう、市内図書館、各小中学校、幼稚園、保育園、行政および民間団体等が連携して取り組みを一層充実させることを目指しています。

読書冊数の推移



子どもの年齢が上がるにつれて、読書離れが懸念されています。

小・中学生では、読書の習慣が十分身についていないため、年齢が進むとともに読書離れが目立ちます。

子どもたちが、読書の習慣を形成するために、それぞれの年齢にふさわしい読書環境を整備することが、望まれています。

（平成22年5月
高島市内小中学校読書活動調査より）

問社会教育課　☎(32)4457